

この豊かな自然を誇りを持って未来につなごう

地域産業の発展に努めていく

町民の笑顔が財産である。全てがそこから始まる



島崎隆夫 議員



自然を楽しむ

答弁 環境保全課長
この条例は、町長の思いを受けてつくられたものです。平成17年4月1日から施行され、同年6月にそのあらましを全戸配布しました。その後は、特別な啓発は行なっていないです。

質問 自然を活かした観光産業の育成と発展について考えていることは。

答弁 産業観光課長
豊かな自然と郷土の歴史的な資源を盛り込んだハイキングルートの充実や、サイクリングコースの新設を考えます。また、多くの来町者に満足していただくように、おもてなしの心を持って地域産業の発展に努めていきます。

質問 当町が加入する小川地区衛生組合とごみ焼却場の今後の展望は。

答弁 環境保全課長
今議会の開会の段階ですが、9市町村による枠組みで一部事務組合をつくり、新処理施設を建設していく方向で調整が進められています。

質問 私は、町民が心安らかに暮らせるまちづくりに思いを込めて、『自然環境と調和した町』を考えていきたいと思っている。財政が厳しいと何もできないと考えがちですが、『ピンチの時にこそチャンスあり』だと考えましょう。人々の心に訴え、町民挙げて理想を現実に行きましよう。明日からではなく、今から変えていきましょう。

以上の考えのもとで、町の考えは、小川町環境保全条例の町民への周知方法の確認と、今後の展開の考えは、

質問 ずさんな資金計画、過大な設備投資が原因の倒産、工事ストップ等がある。今回の西中改築工事は、平成25年度までの緊急防災減災事業によるものだが、その趣旨、目的に照らし、全体計画、避難施設としての体育館設備の考え方等に資金確保の点で問題ないのか。

答弁 政策推進課長
資金確保は、非常に重要です。11月に文科省から学校施設環境改善交付金の照会があり、東日本大震災復興特別会計、耐震化事業のメニューに該当しています。11月26日に要望書を提出済みで問題ないものと認識しています。

質問 業者育成の観点からも、業務仕様書への地元業者の参入等を検討していた方がいいか。

答弁 学校教育課長
木質化で実施設計を進めています。課題として地場産材をどのように活用できるか設計事務所と研究、検討中です。防災機能については、学校教育施設としての設備を踏まえつつ、避難所として、太陽光発電、小型発電機、受水槽からの給水、仮設トイレ設置ほかLPガス貯蔵タンク（バルク貯蔵）やLAN配線の設置も行ないます。地場産材の活用、町内業者の参入を考慮し、議員指摘のように、仕様書の特記事項内容の研究、関係部署と連携、入札方法を検討しています。

感が保たれ、手抜きができてにくいことから、随意契約でなく新たに入札とされているが、町ではどう考えているのか。

答弁 学校教育課長
検討します。

どんな学校ができるか
子どもも大人も
みんな期待してるよ!!



大戸久一 議員

改築工事

西中改築工事の資金繰りと工事内容が心配

国へ要望書提出済みで問題はないと認識している

質問 議会からの意見、要望書は、十分検討していただけたのか。請負業者選定に当たり、町内活性化、地元

十分検討していただけたのか。請負業者選定に当たり、町内活性化、地元

質問 埼玉県では、設計者と監理者が別の方が、お互いの緊張

設計者と監理者が別の方が、お互いの緊張



改築予定の西中学校